



## 9月1日は防災の日 みんなで防災訓練へ！

### 防災課

我が国では、毎年のように地震や台風等の自然災害が発生し、更に近年では局地的大雨や土砂災害、河川の氾濫等による被害も多発しています。

今年7月には、梅雨前線及び台風第3号に伴う大雨により、全国各地で被害が発生し、死者37名、行方不明者6名、負傷者28名となり、特に九州北部地方では大変な被害となりました（平成29年7月27日現在）。

また、平成28年4月に発生した熊本地震では、死者239名（災害弔慰金法に基づき災害が原因で死亡が認められたもの及び6月19日から6月25日に発生した豪雨

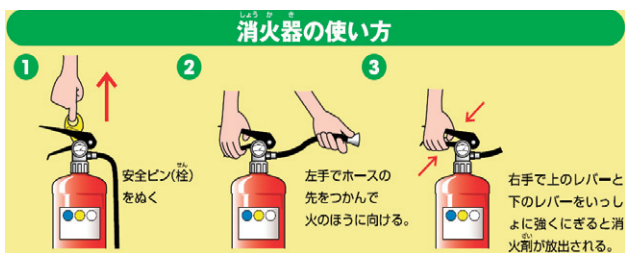
による被害のうち熊本地震との関連が認められた死者数を含む）、負傷者2,780名に加え、住家被害も20万棟を超える甚大な被害となりました（平成29年7月14日現在）。また、近い将来には、首都直下地震や南海トラフ巨大地震が発生する切迫性も指摘されています。

さらには、火山噴火等による被害も発生しており、平成26年9月に長野県御嶽山で発生した火山災害では死者58名、行方不明者5名の被害が生じ、翌年の平成27年5月にも口之永良部島で噴火が発生しました。

## 防災訓練に参加して習得しよう！

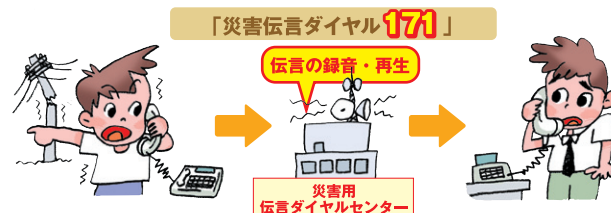
### <消火器の使用方法>

消火器は初期消火に有効です。  
正しい使用方法を覚えましょう！



### <安否情報の確認方法>

例えば『災害伝言ダイヤル171』  
毎月1、15日や防災週間などで体験利用できるので使い方を確認しましょう！



### <応急救護の方法>

応急救護の方法について学びましょう！

消防署等で行われる救命講習会では軽いけがの処置を始めAEDを使用した心肺蘇生法について習得できます。



### <地域住民等で協力して行う救出方法を学ぶ>

大規模災害時には、119番通報が殺到し、消防車や救急車がすぐに現場に向かえない場合も多々あります。地域のみinnで協力し合って救出できるようにしましょう！



自然災害に対し、被害を最小限に抑えるためには、国民一人ひとりが正しい知識を身に付け、いざというときに落ち着いて的確な対処行動をとることが重要になります。災害に対する備えは、日頃の防災意識や防災訓練の体験によって培われますので、そのためにも、各地方公共団体、企業、地域コミュニティ等で行われる防災訓練に積極的に参加することが望まれます。

防災訓練では、情報の収集伝達、避難・誘導、初期消火、応急救護、地震体験等、実践的な対応を経験することにより、一人ひとりが災害発生時の対応策を身に付け

ることができます。

国や地方公共団体では、毎年9月1日の「防災の日」や8月30日から9月5日までの「防災週間」、11月5日の「津波防災の日」を中心に防災訓練が行われますので、積極的に参加し、“いざ”という時に対応できる力を身に付けましょう。

#### 問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部 防災課 中野  
TEL: 03-5253-7525